

すまいるりんく

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

30 日

笑顔をつなぐ、人の輪をつなぐ

- ・お子様の豊かな感受性を伸ばす為に遊び・学ぶ・作るを基本に様々な機会を与えます。
- ・好奇心を持てるように自然豊かな環境で、自立する心を育てる保育・療育を心がけています。

9 時

30 分から

17 時

30 分まで

送迎実施の有無

あり

なし

支 援 内 容

- ・日々の健康状態をチェックし心身の異変に気付けるよう確認を行います。
- ・通所時の身辺処理（靴の片づけや着脱、荷物の整理）をお子様に合わせて実施し、習慣化できるよう支援しています。
- ・基本的な生活のリズムを身につけられるよう、それぞれのお様に適した支援を行います。
- ・1日の流れやイベントの説明はホワイトボードなど視覚支援を用いて、お子様が不安なく過ごすことができるよう支援します。

- ・集団活動では、遊びを通して身体全体を使う課題に取り組み身体機能の維持・向上を図ります。
- ・室内環境に配慮することで、緊張を緩め感情のコントロールや集中力を高め、心身のバランスを整える支援をしていきます。
- ・製作活動にて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、制作活動を行います。手先を使い発想力を養い様々な体験を提供し支援します。

- ・集団活動や製作活動にて、感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援していきます。
- ・小集団での遊びを通じた適切な行動形成、認知の偏りを配慮しながら行動の適応力を促進できるよう支援していきます。
- ・情報の把握が出来るように気づきの時間を設けながら支援します。そこから次の行動につながるよう認知過程の発達を支援していきます。

- ・利用者様の特性に応じた課題を設定し、読み書きの能力の向上を図ります。
- ・集団活動を通して、他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入り援助と支援していきます。
- ・終わりの会で活動を振り返り、みんなの前で発表を行います。そこから感情の表現、言語化を促します。
- ・読み聞かせを通して語彙力を高め、コミュニケーションの手段を習得します。

- ・集団活動の中で役割分担をしたり、ルールを守ることの大切さを知らせ、社会性や安定した人間関係の形成を支援していきます。
- ・思いに寄り添った言葉がけに努め、職員とお子様の良好な関係形成を図ります。
- ・他者との適正な距離感を把握し適宜声掛けを行い、他者との良好な関係を形成するように支援します。

- ・送迎時に親御さんとの会話などで随時情報共有を行います。必要に応じて面談を行い、不安や困りごとへの相談援助を行います。

移行支援

- ・必要に応じて学校に訪問し、情報共有の場を設け支援に生かしていきま
- す。
- ・学校や福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り支援します。

- ・地域イベントへの参加を通して、地域との交流の機会を設け支援します。
- ・卒業後やその他、移行先にスムーズに移行ができるよう、各関係機関との連携を図り、調整を行います。

職員の質の向上

- ・発達特性と支援の手立てについて研修等で学び専門性を高めます。
- ・支援の中での気づきや変化は職員間で共有し質の高い支援を行います。

- ・季節ごとに合わせたイベント（餅つき、節分、水遊び、ハロウィン、クリスマス等）
- ・土曜日、長期休暇中のクッキング
- ・遠足